

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	原木きのこのブランド化推進事業
事業主体 (連絡先)	お〜い原木会 会長 辻出義雄 電話 0268-82-5071
事業区分	(6)ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,223,397円 (うち支援金:1,496,000円)

事業内容

お〜い原木会は、平成17年の設立以降、坂城町内の有志住民が主体となり、廃トンネルをきのこ培養施設として有効利用するとともに、里山の森林資源をきのこ原木として活用し、マイタケ・シイタケ・ヤマブシタケ等の原木きのこを生産・販売している。今後、原木きのこの安定生産を図るために、次の対策を行った。

- ・トンネル内でのホダ木培養に係る害菌対策として砂ほこりが舞い上がらないように床面コンクリート打ち施工をした。
- ・しいたけ・ひらたけをスライス及び乾燥加工をするためにスライサー、真空パック機材の購入をした。
- ・原木きのこレシピ集を製作した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

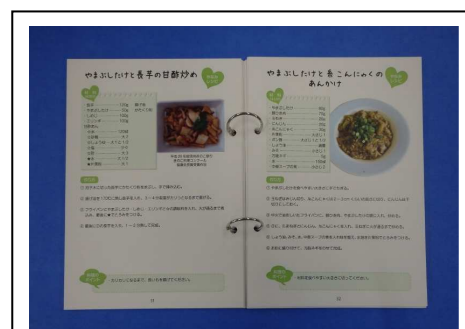
ホダ木培養場所に床面コンクリート打ち施工をすることにより、不良品を減少させる対策を講じられた。

以前は、供給体制に難がある原木きのこは定期的な販売は難しかったが、乾燥きのこの製造により消費者への通年販売が可能になった。

また、毎年秋に開催しているきのこ祭りにおいても、乾燥きのこを含めた幅広い品目の販売、レシピの紹介により、今まで以上に消費者へPRすることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。



【原木きのこレシピ集】

【目標・ねらい】

- ① コンクリート打ち施工をすることによりホコリの舞上がりを防ぎ、ホダ木培養の不良品を減らす。
- ② しいたけ、ひらたけをスライス乾燥パック加工し、商品の通年販売を可能にする。
- ③ 原木きのこレシピ集を製作し、直売所等での配布を通じて原木きのこの販売促進を図る。

※自己評価【B】

【理由】

- ・ホダ木不良品が減少してきている
- ・乾燥きのこの製造が容易になった
- ・レシピ本作製による、きのこ料理の紹介により販売につながってきている。

トンネルを使用した原木きのこの地域ブランド化のために、今後さらに生産性の向上と消費者へのきのこ料理のPR、販売強化を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある